

Avaya J169/J179 IP 電話機(H.323)の使 用

リリース 6.7 第1版 2018 年 5 月 © 2018, Avaya Inc. All rights reserved.

注記

携帯電話、モバイル、または GSM 電話、または双方向ラジオを Avaya IP 電話の近くで使用すると、電波障害が生じる場合があり ます。

ドキュメントに関する免責

「ドキュメント」とは、様々な媒体で公開している製品関連情報を 意味します。なおこの情報には、製品のユーザーへ通常提供してい る製品情報、取扱説明書、性能仕様書が含まれる場合があります。 ドキュメントには広告資料は含まれません。Avaya はドキュメン トの初版に対するいかなる変更、追加、削除に対して、それらが Avaya または Avaya の代理により実行されたものでない限り、責 任を持ちません。エンドユーザーは、エンドユーザーの範囲内で本 ドキュメントを修正、追加、削除したことによって生じる、または それに関連するいかなる申し立て、訴訟、請求、判決に対しても、 Avaya、Avaya 代理人、従業員を免責することに同意するものとし ます。

リンクに関する免責

Avaya は、サイト内および Avaya が提供しているドキュメントに おいて参照されているリンク先の Web サイトのコンテンツや信頼 性について一切責任を負いません。Avaya は、これらのサイトに記 されている情報、記述、内容に関して責任を負いません。また、そ こで説明・提供されている製品、サービス、情報を必ずしも是認す るものでもありません。Avaya は、これらのリンクが常に機能する ことは保証していません。当社はリンク先ページの可用性を管理 することはできません。

保証

Avaya のハードウェアおよびソフトウェアは、Avaya による限定保 証付きです。限定保証の条件については、売買契約書を参照してく ださい。また、Avaya の標準保証規約、およびこの製品の保証期間 中に利用可能なサポート情報は、Avaya サポート Web サイト (https://support.avaya.com/helpcenter/getGenericDetails? detaild=C20091120112456651010)の「Warranty & Product Lifecycle」リンクまたは Avaya が指定する後継サイトに掲載され ています。米国およびカナダ以外の Avaya 認定チャネルパートナ ーから本製品を購入された場合は、保証の提供元は Avaya ではな く、この Avaya チャネルパートナーとなることにご注意ください。

「ホステッドサービス」とは、Avaya または Avaya 認定チャネルパ ートナー (いずれか該当するもの) のいずれかからお客様が取得し た Avaya ホステッドサービスサブスクリプションを指し、ホステ ッド SAS または該当するホステッドサービスに関するその他のサ ービス説明書で詳細に説明されています。ホステッドサービスサ ブスクリプションをご購入の場合、前述の限定保証が適用されない 場合がありますが、該当するホステッドサービス向けのサービス説 明書に記載されている当該ホステッドサービス向けサポートサー ビスの対象となる場合があります。詳しくは、Avaya または Avaya チャネルパートナー (いずれか該当するもの) にお問い合わせくだ さい。

ホステッドサービス

以下は、お客様が Avaya または Avaya チャネルパートナー (いず れか該当するもの) から Avaya ホステッドサービスサブスクリプ ションを購入された場合にのみ適用されます。ホステッドサービ スの利用条件は、Avaya の Web サイト (<u>HTTPS://</u>

SUPPORT.AVAYA.COM/LICENSEINFO)の「Avaya Terms of Use for Hosted Services」リンクまたは Avaya が指定する後継サイト に掲載されており、これはホステッドサービスにアクセスする、ま たはこれを利用するすべてのユーザーに適用されます。本ホステ ッドサービスへのアクセスまたはその使用、もしくはかかる行為を 他者に許可することによって、お客様はご自身のために、およびお 客様が代わりにかかる行為を行っているエンティティ(以下、区別 なく「お客様」または「エンドユーザー」と称する)は、本利用 条件に同意したこととなります。会社またはその他の法人を代表 して、お客様が本利用条件に同意する場合、お客様にはかかるエン ティティを本利用条件に同意する場合、お客様にはかかる推眼がない場合、または本利用条件に同意しない場合、または本利用条件に同意しない場 合は、本ホステッドサービスにアクセスしたり、それを使用した り、または他者にホステッドサービスのアクセスや使用を許可した りしないでください。

ライセンス

Avaya の Web サイト (<u>HTTPS://SUPPORT.AVAYA.COM/</u>

LICENSEINFO)の「AVAYA SOFTWARE LICENSE TERMS (Avaya 製品)」リンクまたは Avaya が指定する後継サイトに掲載のソフト ウェアライセンス条項は、Avaya または Avaya チャネルパートナ ーとの取引契約に基づき、Avaya Inc.、Avaya 関連会社または Avaya チャネルパートナー(これらのうちいずれか該当するもの) から購入した Avaya ソフトウェアをダウンロード、使用および/ま たはインストールしたすべてのユーザーに適用されます。Avaya、 Avaya 関連会社、または Avaya チャネルパートナー以外からソフ トウェアを入手した場合、書面による Avaya との同意が別にない 限り、Avaya はこのライセンスを拡張しません。また Avaya は、 ライセンスなしにソフトウェアを使用・販売する人物に対して法的 措置を取る権利を保有します。本ソフトウェアをインストール、ダ ウンロードまたは使用するか、第三者によるこれらの行為を許諾し たお客様と、お客様が代表している会社(状況に応じて、以下「お 客様」または「エンドユーザー」といいます)は、本条件に同意 したこととなり、この場合、お客様と AVAYA INC. または該当する AVAYA 関連会社(以下「Avaya」といいます)との間に法的拘束力 を持つ契約が成立します。

Avaya は、下記にライセンスの範囲が詳述されている旧 Nortel ソ フトウェアを除いて、お客様に対し下記の種類のライセンスを付与 します。注文書に明示的にライセンスタイプが指定されていない 場合は、下記指定システムライセンス (DS) セクションの規定に 基づき、適用可能なライセンスは指定システムライセンスとなりま す。ライセンスの数と、ライセンス対象性能の単位は、該当のドキ ュメントまたはお客様に提供されるその他の資料に別途明記され ていない限り、1とします。「本ソフトウェア」とは、スタンドア ロン製品、ハードウェアへのプレインストール製品、ならびにその アップグレード版、アップデート版、パッチ版、バグフィックス版 または修正版として Avaya または Avaya チャネル パートナーが 提供する、オブジェクトコード形式のコンピュータプログラムを意 味します。「指定プロセッサ」とは、単一のスタンドアロンのコン ピュータデバイスを意味します。「サーバー」とは、複数のユーザ ーが利用するソフトウェアアプリケーションをホストする(物理的 または仮想的な)指定プロセッサを意味します。「インスタンス」 とは、(i) 1 台の物理マシンにおいて、または(ii) 1 台のソフトウェ ア展開済み仮想マシン(「VM」) またはこれに類するデブロイメン トにおいて、特定の時間に実行されるソフトウェアの単一のコピー を意味します。

ライセンスの種類

指定システムライセンス (DS): エンドユーザーは 1) 注文書に記載 されている数までの指定プロセッサ数、または 2) 注文書、ドキュ メント、またはアバイアにより承認された書面に記載されたソフト ウェアのインスタンス数までしかソフトウェアの各コピーまたは インスタンスをインストールおよび使用できません。Avaya では、 注文書に明記されている指定プロセッサの識別に必要な、種類、シ リアル番号、機能キー、インスタンス、場所または他の固有情報の 提供をお客様にお願いする場合がある他、Avaya 指定の電子的手段 により前述の情報の提供をお願いする場合もあります。

シュリンクラップライセンス (SR):お客様は、本ソフトウェアに 付属するか適用される「シュリンクラップ」または「クリックス ルー」ライセンス (以下「シュリンクラップライセンス」といい ます) など、該当の使用許諾契約の条件に従い、本ソフトウェアを インストールして使用することができます。

旧 Nortel ソフトウェア

「旧Nortel ソフトウェア」とは、2009 年 12 月の Nortel Enterprise Solutions Business の事業譲渡の一部として Avaya によって取得 されたソフトウェアを意味します。旧ノーテルソフトウェアとは、 https://support.avaya.com/LicenseInfoの「旧ノーテルソフトウェアとして ア」リンクまたはAvaya が指定する後継サイトに掲載される旧ノ ーテル製品リストに含まれる本ソフトウェアです。旧ノーテルソ フトウェアに関して、Avaya はお客様に対して、本ソフトウェアラ イセンス条件にもとづき、本ドキュメンテーションに記載された目 的のためのみに、かつ埋め込んだ状態でのみ、実行のために、Avaya 機器とのコミュニケーションのために、承認されたアクティベーシ ョンまたは承認されたユッセージレベルの範囲で、旧ノーテルソフ トウェアを利用するライセンスを付与します。旧 Nortel ソフトウ ェアの料金は、注文書または請求書に記述される承認されたアクテ ィベーションまたは使用の範囲に基づく料金となる場合がありま す。

著作権

他に明示的に記されていない限り、Avaya が提供しているサイトの コンテンツ、ドキュメント、ソフトウェア、ホステッドサービス、 またはハードウェアを使用することはできません。Avaya が提供 する当サイトの全コンテンツ、ドキュメント、ホステッドサービ ス、および製品(コンテンツの選択、配置、デザインを含む)の所 有権は、Avaya またはそのライセンス供与者が保有しており、著作 権法および他の知的財産権法(データベース保護に関する独自の権 利を含む)によって保護されています。Avaya が明示的に許可した 場合を除き、コンテンツ全体またはその一部(コードやソフトウェ アを含む)も、その手法を問わず、修正、模写、複製、再版、アッ プロード、投稿、転送、配布することはできません。Avaya の書面 による明確な同意なしにこれらを複製、転送、配布、保存、使用す ることは、適用法のもとで刑事上および民事上の犯罪になる場合が あります。

仮想化

以下は、製品が仮想マシンに展開される場合に適用されます。各製品には、固有の発注コードおよびライセンスの種類が割り当てられています。他に記されていない限り、製品の各インスタンスのライ センス供与および注文は、個別に行う必要があります。例えば、エ ンドユーザーまたは Avaya チャネルパートナーが同じ種類の製品 のインスタンスを2つインストールする場合、その種類の製品を2 つ注文する必要があります。

サードパーティコンポーネント

「サードパーティコンポーネント」とは、ソフトウェアまたはホス テッドサービスに含まれる特定のソフトウェアプログラムまたは その一部に、サードパーティ契約にもとづいて配布されるソフトウ ェア(オープンソースソフトウェアを含む)を意味します(以下、 「サードパーティコンポーネント」)。この契約には、ソフトウェア の特定部分についての使用権に関する条項(以下、「サードパーティ 条項」) が含まれています。必要に応じ、配布された Linux OS ソ スコード (Linux OS ソースコードを配布した製品) に関する情報に ついては、またサードパーティコンポーネントの著作権所有者およ び適用されるサードパーティ条項を特定するには、当該の製品、ド キュメント、あるいは Avava のサポート Web サイト (https:// <u>support.avaya.com/Copyright</u>) または Avaya が指定する後継サイ トをご覧ください。サードパーティとの契約条件として提供され るオープンソースソフトウェアライセンス条件は、本ソフトウェア ライセンス条件で付与されているライセンス権と矛盾せず、オープ ンソースソフトウェアの修正や配布など、お客様の利益となるその 他の利益も含まれる場合があります。サードパーティとの契約条 件は、本ソフトウェアライセンス条件が、適用されるサードパーテ ィとの契約条件よりも厳しい制約を課している範囲内において、適 用されるサードパーティコンポーネントについてのみ、本ソフトウ ェアライセンス条件に優先するものとします。

以下は、H.264 (AVC) CODEC が製品に配布される場合にのみ適 用されます。本製品は、AVC 特許ポートフォリオライセンスにも とづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用 途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること (以下、「AVC ビデオ」)、および/または (ii) 消費者が個人的行為とし てエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセン スを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコード することを目的として、ライセンス許諾されるものです。他のいか なる用途についても、ライセンスが許諾されることはなく、またラ イセンスが黙示的に付与されることもありません。詳細について は、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。<u>HTTP://</u> <u>WWW.MPEGLA.COM</u>を参照してください。

サービスプロバイダ

以下は、Avaya 製品またはサービスをホストする Avaya チャネル パートナーに適用されます。サードパーティとの契約条件に従い、 製品またはホステッドサービスでサードパーティコンポーネント を使用する場合があります。この場合、サービスプロバイダはサー ドパーティサプライヤから直接、個別にライセンスを取得する必要 があります。Avaya 製品をホストする Avaya チャネルパートナ は書面による Avaya の承諾が必要です。これらのホステッド製品 に特定のサードパーティソフトウェア(MICROSOFT ソフトウェ アまたは CODEC が含まれますがこれらに限定されません)が使用 または組み込まれる場合、Avaya チャネルパートナーは適用される 使用許諾契約を当該サードパーティサプライヤから直接、個別に自 費で入手する必要があります。

CODEC に関しては、Avaya チャネルパートナーがホストする製品 に G.729 CODEC、H.264 CODEC、または H.265 CODEC が使用 または組み込まれる場合、Avaya チャネルパートナーはすべての関連費用および/またはロイヤリティの責任を負うことに同意した こととなります。G.729 CODEC は SIPRO LAB TELECOM INC. からライセンス許諾されています。詳細については

WWW.SIPRO.COM/CONTACT.HTML を参照してください。H.264 (AVC) CODEC は、AVC 特許ポートフォリオライセンスに基づき、 消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(I) AVC標準に準拠してビデオをエンコードすること(以 下、「AVC ビデオ」)、および/または(II) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセ ンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコー ドすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。他のいかなる用途についても、ライセンスが許諾されることはなく、またライセンスが許諾されることはなく、また CODEC および H.265 (HEVC) CODEC の詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。HTTP:// <u>WWW.MPEGLA.COM</u>を参照してください。

法令との準拠性

お客様は、Avaya 製品が使用されるいかなる国や地域においても通 話録音、データプライバシー、知的財産、営業秘密、不正行為、演 奏権(これらを含みますが限定されない)に関連する適用法令に準 拠する責任を負うことに同意することとなります。

通信不正利用の防止

「通信不正利用」とは、未承認のユーザー (例えば、従業員、代理 店、下請け業者、または代理業者以外のユーザー)がお客様の通信 っ、「雨り未石、またにに、生ま石以外のユーリー」から各様の通信 システムを許可なしで利用することです。お客様のシステムに関 連した通信不正利用のリスクがあるということ、さらに通信不正利 用が行われた場合、お客様の通信サービスに対して相当額の追加請 求が生じる結果になりますのでご注意ください。

Avaya Toll Fraud Intervention (Avaya 通信不正利用防止ライン)

通信不正利用の被害にあっている疑いがあり、技術的な支援または サポートが必要な場合、米国およびカナダ在住のお客様は Technical Service Center Toll Fraud Intervention Hotline (Tel: +1-800-643-2353) へお電話でご連絡ください。その他のサポートの電話番号については、Avaya サポート Web サイト (<u>https://</u> <u>support.avaya.com</u>) または Ávaya が指定する後継サイトをご覧く ださい。

セキュリティの脆弱性

Avaya のセキュリティサポートポリシーの詳細については、 「Security Policies and Support」セクション(<u>https://</u> support.avaya.com/security)を参照してください。

Avaya 製品でセキュリティの脆弱性が疑われる場合は、Avaya Product Security Support Flow (https://support.avaya.com/css/P8/ documents/100161515) に従い対応してください。

ドキュメントのダウンロード

ドキュメントの最新版については、Avaya サポート Web サイト (<u>https://support.avaya.com</u>) または Avaya が指定する後継サイト をご覧ください。

Avaya サポートの連絡先

製品またはホステッドサービスの案内や記事を確認したり、Avaya の製品またはホステッドサービスに関する問題を報告したりする 場合は、Avaya サポート Web サイト (https://support.avaya.com) にアクセスしてください。サポートの電話番号およびお問い合わ せ先については、Avaya サポート Web サイト (<u>https:/</u> <u>support.avaya.com</u>) または Avaya が指定する後継サイトにアクセ スし、ページの下までスクロールして、「Contact Avaya Support」 を選択してください。

規制に関する宣言

オーストラリアによる宣言

ハンドセット磁気に関する宣言:

🛕 危険

ハンドセット受信機には、小さな金属体を引き寄せる可能性 のある磁気装置が含まれています。ケガを負わないよう、注 意を払ってください。

カナダ産業省(IC)による宣言

RSS 標準に関する宣言

本装置はカナダ産業省がライセンス免除した RSS 標準に準拠して います。次の2つの条件に従って操作する必要があります。

- 1. 本装置は、妨害を引き起こすことなく、また
- 2. 装置の望ましくない操作を引き起こすおそれのある妨害 も含め、本装置はあらゆる妨害を許容する必要がありま す。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- 1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- 2. L'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

無線通信機に関する宣言

カナダ産業省の規定では、本無線通信機はアンテナタイプおよび、 通信機に対しカナダ産業省が承認する最大(あるいはそれ以下)の ゲインを使用してのみ操作するものとします。他のユーザーに対 する潜在的な無線障害を減少させるため、アンテナタイプとそのゲ インは等価等方放射電力(EIRP)が通信の成功に必要とされる以 上のもの選択してはなりません。

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

この Class B のデジタル機器は、カナダの ICES-003 規準に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

放射線被ばくに関する宣言

本装置は、規制のない環境向けに設定された FCC & IC RSS102 放 射線被曝制限を満たしています。本装置は、ラジエータと人体間の 距離が少なくとも 20 cm 以上離れた場所に設置して運用されるも のとします。本通信機器を他のアンテナや通信機器と一緒に設置 したり、連動させたりしてはなりません。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISEDétablies pour un environnement non contrôlé.Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

日本による宣言

クラス B に関する宣言

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の 基準に基づくクラスB装置です。この装置を家庭環境に設置され ているラジオやテレビの付近で使用すると、電波妨害を引き起こす ことがあります。取扱説明書に従って装置を設置および使用して ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用 することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に 近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

Denan (電気用品安全) 電源コードに関する宣言

🛕 危険

装置の設置中、以下に注意してください。

- 装置に付属の、または Avaya が本装置での使用を指定した接続ケーブル、電源コード、AC アダプタのみを使用してください。ほかの装置を使用すると、障害や故障、火災を引き起こす場合があります。
- 本装置に付属の電源コードはほかの装置では使用できません。上記ガイドラインに従わない場合、死亡や重大な怪我につながることがあります。

▲ 警告

本製品を安全にご使用頂くため、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず製品に同梱されております添付品または指定品をご使用ください。添付品指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となることがあります。
- 同梱されております付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。上記注意事項を守らないと、死亡や大怪我など人身事故の原因となることがあります。

メキシコによる宣言

- 本装置は、次の2つの条件に従って操作する必要があります。
 - 1. 本装置は、有害な妨害を引き起こすことなく、また
 - 望ましくない操作を引き起こすおそれのある妨害も含め、本装置が受けるあらゆる妨害を許容する必要があります。

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y Este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

パワーオーバーイーサネット(PoE)に関する宣言

本装置は PoE ネットワークに接続する必要があります。外部機器 には配線しないでください。

米国連邦通信委員会(FCC)による

電波障害に関する宣言

コンプライアンスの責任を負っている当事者が明確に承認してい ない変更や改造を行うと、ユーザーが本装置を操作する権限を失う 場合があります。

FCC RF 露出コンプライアンス要件に準拠するため、本装置および アンテナは他のアンテナや通信機器と一緒に設置したり、連動させ たりしてはなりません。

本装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。次の2つの条件に従って操作する必要があります。

- 1. 本装置は、有害な妨害を引き起こすことなく、また
- 望ましくない操作を引き起こすおそれのある妨害も含め、本装置が受けるあらゆる妨害を許容する必要があります。

本装置は FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタルデバ イスの制限を満たしていることが実験で証明されています。これ らの制限は、住宅地での設置において有害な電波障害を妥当な範囲 で防ぐために設けられています。本装置は無線周波エネルギーを 発生・使用し、またこれを放射する可能性があります。指示に従っ て設置・使用しないと、無線通信に有害な電波障害が発生する可能 性があります。ただし、適宜に設置しても電波障害が絶対に発生し ないという保証はありません。本装置によってラジオやテレビの 受信が干渉を受けている場合(本装置をオン/オフに切り換えるこ とで確認できます)、ユーザーは以下のいずれかの方法によって電 波障害を解消するよう奨励されます。

- 受信アンテナの向きや場所を変更する
- 本装置と受信機の距離を離す
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別のコンセント に接続する
- 販売店または熟練したラジオ/テレビの技術者に相談する

放射線被ばくに関する宣言

本装置は、規制のない環境向けに設定された FCC 放射線被曝制限 を満たしています。本装置は、ラジエータと人体間の距離が少なく とも 20 cm 以上離れた場所に設置して運用されるものとします。 本通信機器を他のアンテナや通信機器と一緒に設置したり、連動さ せたりしてはなりません。

EU 各国

このデバイスはインストール時点で、EMC 指令 2014/30/EU、低電 圧指令 2014/35/EU の基本的要件とその他の関連規定に準拠して います。宣言のコピーは <u>http://support.avaya.com</u> または Avaya Inc., 4655 Great America Parkway, Santa Clara, CA 95054–1233 USA から取得できます。

- WiFi トランスミッタ
 - 周波数 2412-2472 MHz、送信電力 17.8 dBm
 - 周波数 5180-5240 MHz、送信電力 19.14 dBm

一般的な安全警告

- この製品に指定されている Avaya 認可の Limited Power Source 電源装置のみを使用してください。
- 以下のことを確認してください。
 - 水の近くでデバイスを操作しないでください。
 - 落雷時にデバイスを使用しないでください。
 - ガス漏れの周辺でガス漏れを報告しないでください。
 - アクセサリ電源 Phihong Technology Co.Ltd. の PSAC12R-050 モデル(出力 5VDC、2.4A)の限定され た電源のみ使用

商標

本サイトならびに Avaya 提供のドキュメント、ホステッドサービ スおよび製品に表示されている商標、ロゴ、サービスマーク (以下、 「マーク」) は、Avaya およびその関連会社、ライセンサ、サプライ ヤもしくはその他サードパーティの登録/未登録商標です。ユーザ ーは、Avaya またはマークを所有している可能性がある第三者の書 面による事前の許可なく、これらのマークを使用することはできま せん。当サイト、ドキュメント、ホステッドサービス、製品に含ま れているいかなるものによっても、Avaya または該当するサードパ ーティの明確な同意なく、黙示的にも禁反言にも、マークのライセ ンス供与または権利を認めるものとして見なすことはできません。

Avaya は、Avaya Inc.の登録商標です。

Avaya 以外の商標は、各所有者の財産です。Linux[®]は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標で す。

目	次

章	1: 概要	8
	目的	8
奆	2: 電話の概要	. 9
•		10
	接続ジャック	12
	オプションのコンポーネント	14
	一般的なアイコン	. 14
	通話履歴アイコン	. 15
童	3: 基本的な操作	. 17
•	電話機にログインする	17
	電話機からログアウトする	17
	ゲストユーザーとしてログインする	18
奆	4: ナビゲーション	19
•	ナビゲーションのヒント	. 19
	メニューオプション	19
	機能画面にアクセスする	20
音	5: 通話操作	21
-	平に応答する	21
	発信する	21
	呼を発信する	21
	緊急通話を行う	22
	連絡先リストから電話をかける	22
	通話履歴から電話をかける	22
	発信前に番号を編集して電話をかける	23
	電話帳から電話をかける	23
	番号をリダイヤルする	23
	番号をくりあする	. 24
	「クリックダイヤル」リンクで電話をかける	. 24
	呼を転送する	24
	呼をミュートにする	24
	呼を保留にする	25
	連絡先	25
	連絡无機能を使用する	25
	新しい連絡先を追加する	. 25
	連絡九を削除りる	20
		. 20
	連約元の計神を衣小りる	. 21 27
	– – – – – – – – – – – – – – – – – – –	. 21 27
	<u>迪印履進</u> 通託履麻麻を表示する	21
	<u> 四山腹に</u> にてな小りの	21 28
	四山腹近の叶州でな小りる 通託屠麻から浦終失りてトにエントリを追加する	20 28
	@吅履症/ う足恒ルフハトにエノトフ ∈ 煌加する	20

	通話履歴からエントリを削除する	28
	通話履歴エントリをすべて削除する	28
	通話履歴をオフにする	. 29
	会議	29
	会議機能の使用	. 29
	アクティブな呼に相手を追加する	29
	保留中の相手を会議通話に追加する	30
	会議通話から通話先をドロップする	30
	会議通話から最後の通話先をドロップする	30
	会議通話を保留および再開する	. 31
	会議通話で通話先をミュートにする	31
	ボイスメールの使用	31
	メッセージの取得	. 31
奆	6: 拡張機能	. 33
•		33
	不在転送を起動する	33
	離席機能を起動する	33
	携帯内線を起動して複数の電話機に同時に着信を設定する	34
	ブリッジコールアピアランスを使用する	. 34
	ブリッジコールアピアランスを使用する	. 34
音	7: 雷話楼のカスタマイズ	37
-	オプションおよび設定	37
	通話設定	37
	アプリケーションの設定	. 42
	ア・アア・ティー ひかん こう ひかん こう ひかん	44
	詳細設定オプション	47
	管理者メッセージ	. 49
	ブラウザ	. 49
音	8. トラブルシューティング	51
-	フェイルオーバー中のアクセス制限	51
幸	0. 周古姿料	52
부	J· 因廷具作	. 33 52
	トイエクノト Aveva Manter Videoa のまテ	53
	Avaya ivieniur viueus の衣小	. 33 EA
	ッ小一 F	. 54

章 1: 概要

目的

このドキュメントはエンドユーザーを対象としており、Avaya J169/J179 IP Phone で利用可能 な機能の使用方法について記載しています。このドキュメントでは、エンドユーザーが行うさ まざまな機能の設定手順についても説明しています。

章 2: 電話の概要

Avaya J169/J179 IP Phone は、業務で使用する電話機です。この電話機は 4 回線の通話表示と 8 回線のコールアピアランスに対応しています。この電話機は最大 3 つのボタンモジュールに 対応し、各ボタンモジュールは 24 回線のコールアピアランスに対応しています。

Avaya J169 IP Phone はグレースケールディスプレイ、Avaya J179 IP Phone はカラーディスプレイをそれぞれ搭載しています。

物理仕様

- ・8 つのコールアピアランス
- 320 x 240 ピクセルのグラフィカル LCD
- ・4 つのソフトキー
- デュアル 10/100/1000 ネットワークポート
- ・5V DC 電源サポート(オプション)
- ・48V GSPPOE 電源アダプタのサポート
- 磁気フックスイッチ
- ・最大3つのボタンモジュールのサポート

物理レイアウト



番号	名前	説明	
1	ビーコン LED	次の着信ランプ表示が赤いランプで示されます。	
		• 着信	
		・ボイスメールおよびメッセージ	
2	電話画面	次の2つのエリアが表示されます。	
		 1. 上部バー:通信ステータス、日時、デバイスの状態が表示 されます。このエリアは常に表示されます。 	
		2. アプリケーションエリア:次の内容が表示されます。	
		 アプリケーションヘッダー:状況に応じたアプリケーションタイトルと、1つ以上のサブタイトルが表示されます。このヘッダーは、[電話] 画面では常に空です。 	
		 アプリケーションコンテンツエリア:メニュー、リスト、ポップアップウィンドウ、画像、その他のアプリケーションコンテンツが表示されます。 	
		 ソフトキーラベルエリア:[ソフトキー]ボタンの状態 に関する情報を示すラベルが表示されます。 	
3	ラインキー	対応する行を選択するために使用します。各ラインキーには、 次の着信ランプを表示する LED が付いています。	
		 赤いランプ:無効な機能 	
		 緑のランプ:着信と有効な機能 	
		•赤と緑のランプ:電話のオフフック状態	
4	ソフトキー	状況に応じたアクションに対応するラベルを選択するために 使用します。	
		[ヘルプ] ソフトキーを使用すると、電話機で使用できる機能 の簡単な説明を表示できます。管理者は、[ヘルプ] 機能を有 効にする必要があります。	
5、7	ナビゲーションクラスター	電話画面を移動するために使用します。	
		 [OK] ボタン:最初のソフトキーに割り当てられたアクションを選択します。 	
		• [上] および [下] 方向キー:上および下にスクロールしま す。	
		 「右]および [左] 方向キー:テキスト入力フィールドでは カーソルを移動し、選択フィールドでは値を切り替えます。 [機能]画面にもアクセスできます。 	
11	ボイスメール	設定されたボイスメール番号にダイヤルして、ボイスメッセージを受信するために使用します。	
12	ヘッドセット	通話をスピーカーまたはハンドセットからヘッドセットに切り替えるために使用します。	
13	スピーカー	スピーカーをオンにするために使用します。	
14	ボリューム	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカー、または着信音の音 量を調整するために使用します。	
		・プラスキー([+]):音量を上げます。	

次のページに続く…

番号	名前	説明	
		・マイナスキー([-]): 音量を下げます。	
15	ミュートボタン	発信の音声をミュート/ミュート解除するために使用します。	

アプリケーションキーを使用すると、対応するアプリケーションに直接アクセスできます。

番号	アプリケーションキー	説明
6	電話キー	電話画面を表示します。
8	メインメニュー	次のオプションのリストを表示します。
		・オプションおよび設定
		• ネットワーク情報
		・ VPN 設定
		・ログアウト
		・Avaya IP Deskphone について
9	連絡先	連絡先リストのエントリを表示します。
10	履歴	通話履歴にある通話のリストを表示します。

接続ジャック

次の図に Avaya J169/J179 IP Phone の背面パネルにある接続ジャックを示します。 この図は、どのデバイスをどのジャックに接続するかを概略的に示しています。



番号	名前	説明
1	5V DC ジャック	電源を接続します。
2	ネットワークポート	イーサネットケーブルを接続します。
3	PC ポート	コンピューターを接続します。
4	ヘッドセットジャック	ヘッドセットを接続します。
5	ハンドセットジャック	ハンドセットを接続します。
6	WLAN モジュールパネル	Wi-Fi モジュールを統合します。
		* 注
		Wi-Fi モジュールは、Avaya J169 と J179 H.323 の電話機ではサポートさ れていません。

オプションのコンポーネント

次のオプションのコンポーネントを電話機で使用できます。

😒 注

電話機との互換性のあるコンポーネントのみを使用してください。

- ・5 VDC 電源アダプター
- ・ボタンモジュール(JBM24)
- ・GSPPOE Avaya 48V PoE 電源インサータ

一般的なアイコン

次の表に、Avaya J169 IP Phone および Avaya J179 IP Phone のアイコンを示します。アイコンは両方の電話で類似していますが、Avaya J169 IP Phone ではグレースケールでアイコンが 表示され、Avaya J179 IP Phone では色つきで表示されます。

アイコン	説明
€ ×	マイクはミュート状態です。
۴	未応答があります。
ピ	着信のアイコン:この呼に応答済みであることを示します。
V	発信のアイコン:この電話をかけたことを示します。
Ш	電話機の携帯内線機能がアクティブになっています。
*	着信アラート。

次のページに続く...

アイコン	説明
C	呼がアクティブです。
Ľ	呼が保留中です。
CC	会議通話がアクティブです。
וכנ	会議通話が保留中です。
•	右または左のナビゲーション矢印を使って、その他のページ/画 面/オプションを表示します。
	リストの最後です。上にスクロールして選択肢を表示します。
4x	[ボリューム] ボタンの [-] を押し続けると、音量がオフになり ます。ボリュームを上げるには [ボリューム] ボタンの [+] を押 します。
3	管理者は節電のため、このアイコンをいずれかのソフトキーに割り当てる場合があります。このソフトキーを押すと、画面のバックライトがオフになります。バックライトがオフになっているとき、電話の機能が作動するとバックライトが再び点灯します。
6	お使いの電話機が「無名の登録」状態にあることを表しています。 これは、内線番号とパスワードを求めるプロンプトが出てから 60 秒以内に内線番号またはパスワードを入力しなかったことが原因 です。この状態では、電話機はコールサーバーに登録されている 可能性がありますが、1 つのコールアピアランスしか表示されな いため(機能はなし)、発信しか利用できません。無名の登録状態 から変更するには、有効な内線番号およびパスワードを入力して ログインしてください。
HD	コールが広帯域コーデックを使用し、優れた音質が得られること を示します。
	ネットワーク性能が低い、またはローカルネットワークの問題が 存在するため、コールの品質が低下する可能性があります。

通話履歴アイコン

次の表に、Avaya J169 IP Phone および Avaya J179 IP Phone のアイコンを示します。アイコンは両方の電話で類似していますが、Avaya J169 IP Phone ではグレースケールでアイコンが 表示され、Avaya J179 IP Phone では色つきで表示されます。

アイコン	説明
v	未応答のアイコン:この呼に応答しなかった、またはボイス メールに呼を不在転送したことを示します。
1	着信のアイコン:この呼に応答済みであることを示します。

次のページに続く...

アイコン	説明
€.	発信のアイコン:この電話をかけたことを示します。
ب	ブリッジ呼の数を示します。

章 3: 基本的な操作

電話機にログインする

このタスクについて

このタスクを実行して電話機にログインします。内線番号を入力するよう求められたら、初期 画面からログインします。

複数のゲートキーパーが電話に設定されている場合、次の条件において、電話は検出モードで 停止します。

- ・ログイン資格情報が正しくない。
- 電話がログインしている。アップグレードまたはネットワークの停止が原因でいずれかのゲートキーパーに到達できません。検出モードで[リセット]を押します。メモリから資格 情報が削除され、再起動すると、[ログイン]ページが表示されます。

管理者によってオフラインの通話ログ機能がデスクフォンで有効にされている場合、ログイン するとデスクフォンで通話ログデータベースがダウンロードされます。オフラインの通話ログ データベースには、ログインしていなかった間にデスクフォンで着信した通話が保存されます。 これらの通話は未応答として通話履歴に追加されます。

手順

- 1. [ログイン] を押します。
- 2. お使いの内線番号を入力します。
- 3. [入力]、[OK]、[#] のいずれかを押します。
- 4. パスワードを入力します。システム管理者が割り当てたパスワードを入力します。
- 5. 管理者がシステムにゲストユーザー権限の許可を設定している場合、デスクフォンに [ログインモード]のプロンプトが表示されます。右または左のナビゲーション矢印を 使用して、自分がこのデスクフォンのゲストユーザーである(ゲストユーザー)か否か (デフォルト)を選択します。
- 6. [入力]、[OK]、[#] のいずれかを押します。

電話機からログアウトする

このタスクについて

管理者によってオフラインの通話ログ機能が電話機で有効にされている場合、ログインすると 電話機で通話ログデータベースがダウンロードされます。オフライン通話ログには、オフライ ン時の着信呼が保存されます。これらの通話は未応答として通話履歴に追加されます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [ログアウト]を押してログアウトを選択します。
- 3. [ログアウト] または [OK] を押します。

ゲストユーザーとしてこの電話機にログインした場合、電話機ではログアウト時に元の 設定が保存されます。

ゲストユーザーとしてログインする

このタスクについて

別の電話にゲストとしてログインしても、自分の電話機の機能や操作性を使用できます。

😒 注

ゲストユーザーログインオプションは、管理者がこの機能を設定している場合のみ、お使いの電話で利用できます。ゲストユーザーログインでは、電話で使用可能な連絡先リストは使用しません。以前の連絡先リストはクリアされ、電話にはゲストユーザーの連絡先の みが表示されます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [ゲストログイン]を選択します。
- 3. 内線番号を入力します。
- 4. パスワードを入力します。
- 5. [入力] または [OK] を押します。
- 5. 左または右へスクロールして、この電話の使用予定時間を1~12時間から選択します。

選択した時間にかかわらず、いつでもゲストとしてログアウトできます。

7. [入力] または [OK] を押します。

章 4: ナビゲーション

ナビゲーションのヒント

デスクフォンの電話画面に表示されるナビゲーションアイコン())は、その他のオプションや 情報にスクロールできることを示しています。左右のナビゲーション矢印を使用して、タイト ル行にページングアイコン(左向きおよび右向きの矢印)が表示されたときに他の画面に移動 したり、テキストの入力時にカーソルを左右に動かしたりします。

メニューオプション

次の画像は、現在の設定を表示したり、Avaya J169/J179 IP デスクフォンに必要なパラメータ を設定したりするときに利用可能なメニューオプションを示しています。



😒 注

オプションによっては、管理者がご利用の内線番号にオプションを設定していない場合、 デスクフォンに表示されないことがあります。

機能画面にアクセスする

このタスクについて

このタスクを使用して [機能] 画面にアクセスできます。

LED 付きモデルの場合、機能名の横の LED ランプで、その機能が現在オンであるか、オフで あるかを示します。ランプが点灯している場合、機能はオンです。

手順

1. [電話] 画面から、右のナビゲーションボタンを使用して [機能] 画面にアクセスしま す。

メインの[電話]画面に戻るには、[電話]を押すか、左にスクロールします。

2. 下方向にスクロールして内線に割り当てられた機能を確認します。

機能ボタンの横にある緑の LED は、機能が現在オンまたはオフかを表します。ランプ が点灯している場合、機能はオンです。機能ボタンの横にある赤の LED は、機能ラベ ルが画面に表示されているときに点滅します。

章 5: 通話操作

呼に応答する

手順

次の方法の一つで、着信に応答してください。

- ・他の呼に応答していない場合、ハンドセットを持ち上げるか、[スピーカー]、[OK] または [応答] を押してスピーカーフォンでその呼応答するか、[ヘッドセット] を押してヘッドセットで呼に応答するか、対応するラインキー(LEDL)を押して呼に応答します。
- ・呼に応答しており、かつ電話が着信を表示する場合、[電話] 画面から着信の回線までスクロールして[保留応答]を押すか、対応するラインキー(LED)を押すと、新しい呼に応答するときに最初の呼を自動的に保留にできます。また、[切断応答]を押すと、新しい呼に応答するときに最初の呼をドロップすることができます。
- コールアピアランスの最上行にすばやく移動して優先番号回線の着信に応答するには、[電話] 画面から [電話] ボタンを押します。着信のラインを押すか、そのラインにスクロール することができます。.
- ・着信の受信時に[電話]画面を自動的に表示するには、[着信時に通話画面表示]オプションを[はい]に設定します。

発信する

呼を発信する

手順

- 1. ハンドセットを持ち上げ、[スピーカー] または [ヘッドセット] (該当する場合)を押 すか、利用可能なラインのラインボタンを押します。
- 2. 目的の電話番号にダイヤルします。

ミュート通話中の場合は、[上] 矢印または [下] 矢印を使用すると、利用可能なコー ル回線アピアランスを選択できます。

緊急通話を行う

このタスクについて

管理者が電話機に緊急通報を設定した場合、[電話] 画面にはあらかじめ設定された緊急サービ ス番号にただちに接続できる [緊急] ソフトキーが表示されます。

😒 注

管理者がユーザー向けにこの機能を設定している場合のみ、電話機のログアウト時に緊急 通話をかけることができます。電話機をロックした場合にも緊急通話をかけることができ ます。緊急通話機能は、電話機にログインしている場合のみ IP Office で使用できます。ま た、IP Office 環境では [緊急] ソフトキーは使用できません。緊急電話番号は手動でダイ ヤルする必要があります。

手順

- 1. [電話] 画面で [緊急] を押します。
- 2. 緊急通話を終了するには、[ドロップ]を押します。

連絡先リストから電話をかける

手順

- 1. [連絡先] を押します。
- 電話をかける相手または主番号を選択します。
 主番号以外に電話をかけるには、[詳細]を押してから希望する番号を選択します。
- 3. [発信] または [OK] を押します。

通話履歴から電話をかける

手順

- 1. [履歴] ボタンを押します。
- 左右にスクロールして、すべての呼、未応答または不在着信、応答呼、発信のリストを それぞれ表示します。
- 3. 電話をかける相手または番号を選択します。
- 4. [発信] ソフトキーまたは [OK] ボタンを押すか、対応するラインキー(LED)を押します。

管理者の電話設定方法によっては、未応答に折り返し電話をかけると、通話がつながった際にその通話履歴エントリが電話から削除されることがあります。

発信前に番号を編集して電話をかける

前提条件

電話機で[発信前に番号を編集]機能が有効になっていることを確認します。

手順

- 1. [電話] 画面で呼び出したい番号を入力します。
- 2. 番号を編集するには、[Bk スペース]を使って前の文字を1文字ずつ消去します。番号 をすべて消去するには、[クリア]を押します。
- 3. [発信] または [OK] を押します。

電話帳から電話をかける

手順

- 1. [電話] 画面で右にスクロールし、[機能] メニューにアクセスして、[電話帳] を選択 し[選択] または [OK] を押します。
- 2. ダイヤルパッドキーを使用して、電話をかけたい相手の姓を入力します。

名前に対応するダイヤルパッドキーを1回ずつ押します。 たとえは、「「Hill」」という 名前の場合、[4、4、5、5]の順に押します。

- 3. [次へ]を選択すると、ディレクトリ内の名前がアルファベット順で表示されます。
- 4. [OK] を押すか、次の文字を入力します。
- 5. 電話をかける相手の名前が表示されたら、[発信]を選択します。
- 6. [OK] を押すと、選択した呼にダイヤルします。

番号をリダイヤルする

手順

1. [電話] 画面で [リダイヤル] を押します。

電話が直前の番号にリダイヤルします。または一番最近にダイヤルした番号が表示され、そこからリダイヤルする番号を選択できます。

 リダイヤルリストを使用している場合は、発信する番号までスクロールして、[発信] または [OK] を押すか、対応するラインキー(LED)を押します。

システム管理者はリダイヤル機能を無効にすることができます。

番号をくりあする

手順

[クリア]を押して、ダイヤルした番号をすべて消去し、新しい番号を入力します。

😒 注

デスクフォンで [発信前に番号を編集]機能を有効にしている場合のみ、バックスペース ボタンを使用して番号をクリアできます。

「クリックダイヤル」リンクで電話をかける

このタスクについて

クリックダイヤル機能を使用して、WML ブラウザ、またはダイヤルリンクを提供する他の画 面から電話をかけることができます。ハンドセットのアイコンは通常、この種類のリンクが付 いたラインを示します。

手順

- 1. 電話をかけたい相手または番号に該当するリンク(ライン)を選択します。
- リンクが付けられているラインに該当するラインボタンを押すか、または[OK]を押します。

結果

クリックダイヤルリンクに関連付けられた相手または番号への発信が開始されます。

呼を転送する

手順

- 1. [電話] 画面で転送する呼が強調表示されていない場合は、その呼があるコールアピア ランスを押して選択します。
- 2. [転送] を押します。
- 3. 電話番号が分かる場合はその番号をダイヤルするか、[連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。
- 管理者がデスクフォンに無人転送を設定している場合、呼にアナウンスせずに切断することができます。

呼をミュートにする

このタスクについて

通話中、電話機のマイクをミュートにして、別の人間に声が聞こえないようにすることができます。

手順

- 1. 通話中に [ミュート] を押すと、通話中の他の人物が呼を聞けなくなります。
- 2. もう一度 [ミュート] を押して呼のミュートを解除します。

😵 注

呼がミュートになっている場合にハンドセット、ヘッドセット、スピーカーフォン 間で切り替えると、ミュートはオフになります。

通話をミュートにすると、[ミュート] ボタンのライトが点灯し、最上行に[ミュ ート] アイコンが表示されます。

呼を保留にする

手順

- 1. 必要な場合は、[電話]を押してメインの[電話]画面を表示します。
- 2. 保留する通話中の回線を選択します。
- 3. [保留] を押します。

😵 注

呼を保留にすると、電話には保留タイマーが表示されることがあります。

4. [再開]、[OK] または保留呼の回線ボタンを押して、コールを取得します。

連絡先

連絡先機能を使用する

連絡先には、最大 250 件の名前と名前ごとに 3 つの電話番号を保存することができます。USB デバイスを使って連絡先をインポートしたり、エクスポートしたりもできます。

😒 注

[連絡先] ボタンを押すと、本章に記載される機能が一部表示されない場合があります。管 理者が連絡先への変更を無効にしているため、この機能は使用できません。

新しい連絡先を追加する

このタスクについて

それぞれの連絡先につき3つまで番号を追加できます。

手順

- 1. 以下のいずれかを行います。
 - ・初めて連絡先リストに入力する場合は、[連絡先] > [新規]を押します。
 - ・既に連絡リストにエントリがある場合は、[連絡先] > [次へ] > [新規] を押します。
- 2. ダイヤルパッドを使用して名前を入力します。
- 3. 次のフィールドにスクロールします。
- 4. 番号を入力します。
- 5. 次のフィールドにスクロールして入力した番号のタイプ(一般、勤務先、携帯電話、自 宅)を選択します
- この連絡先に別の番号がある場合、次のフィールドを選択し、手順5~手順6を繰り返します。

この連絡先に最大2つの番号を追加できますが、優先番号とできるのは1つのみです。

7. [保存] を押します。

連絡先を削除する

前提条件

[連絡先] リストに1件以上の連絡先があることを確認します。

手順

- 1. [連絡先] を押します。
- 2. 削除したい連絡先を選択します。
- 3. [詳細] > [その他] > [削除] の順に押します。
- 4. 以下のいずれかを押します。
 - [削除]:連絡先を削除します。
 - [キャンセル]:アクションをキャンセルします。

連絡先を編集する

手順

- 1. [連絡先] を押します。
- 2. 編集したい連絡先を検索して選択します。
- 3. [追加] > [編集] または [詳細] > [編集] を押します。
- 4. 編集したいフィールドを選択します。
- 5. ダイヤルパッドとソフトキーを使用して、連絡先情報を変更します。

6. [保存] を押します。

連絡先の詳細を表示する

手順

- 1. [連絡先] を押します。
- 2. 表示したい連絡先を選択します。
- 3. [詳細]を押すと、連絡先の情報が表示されます。第2または第3の連絡先にダイヤルするためには、必ず[詳細]を選択する必要があり
- 該当のソフトキーを押して電話をかけること、この連絡先を編集、削除すること、または連絡先画面に戻ることができます。

連絡先を検索する

ます。

手順

- 1. [連絡先] を押します。
- 2. ダイヤルパッドを使用して、検索したい名前を入力します。
- 3. [発信]を押して相手に電話をかけるか、[次へ]、[編集]で連絡先情報を編集します。

通話履歴

通話履歴歴を表示する

手順

1. [履歴] を押します。

もう一度[履歴]を押してリストの一番上に移動します。

2. 左右にスクロールして、応答呼、発信、未応答のリストをそれぞれ表示します。

😵 注

管理者のシステム設定方法によっては、同人物からの未応答数を示す未応答カウン タが、未応答の横に表示されることがあります。

3. リストのエントリーを表示するには、上下にスクロールします。

通話履歴の詳細を表示する

手順

- 1. [履歴] を押します。
- 2. 表示する番号を選択します。
- 3. [詳細] を押します。

ご自身の呼に加えてブリッジコールもログに含めている場合、該当する番号の前に、ブ リッジコールの詳細、すなわち [発信先] (ブリッジ回線にかけた電話)または [発信 元] (ブリッジ回線からかけられた電話)のいずれかが付きます。

4. リストビューに戻るには、[戻る]を押します。

通話履歴から連絡先リストにエントリを追加する

手順

- 1. [履歴] を押します。
- 2. 連絡先リストに追加する番号を選択します。
- 3. [登録] を押します。
- 4. 必要に応じて、名前と電話番号を編集します。
- 5. [保存] を押します。

通話履歴からエントリを削除する

手順

- 1. [履歴] を押します。
- 2. 削除する番号を選択します。
- 3. [次へ]を押してから、[削除]を押します。
- 4. [削除]を押して削除を確定します。

通話履歴エントリをすべて削除する

このタスクについて

通話履歴のエントリをすべて削除すると、表示中の特定リストのエントリがすべて削除されま す。たとえば、発信リストを表示している場合、発信のエントリのみが削除されます。ただし、 [すべての通話] リストを表示している場合、[全クリア] を押すとすべての通話が削除されま す。

手順

1. [履歴]を押します。

3. [全クリア] または [OK] を押して確定します。

通話履歴をオフにする

このタスクを使用して通話履歴をオンまたはオフにできます。電話機にブリッジコールアピア ランスがある場合は、通話履歴ログにブリッジラインへの通話を含めるかどうかを選択できま す。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [[オプションおよび設定]] > [[アプリケーションの設定]]を選択します。
- 3. オフにしたい通話履歴ログのタイプを選択するには、以下のいずれかの操作を実行しま す:
 - コールログをオフにするには、[履歴]を選択します。
 - ・ブリッジ回線の記録をオフにするには、[ブリッジ呼のログを取る]を選択します。
- 4. [変更] または [OK] を押すか、対応するラインキーを押すと、通話履歴ログのオン/オ フが切り替わります。
- 5. [保存] を押します。

会議

会議機能の使用

アクティブな呼に相手を追加する

このタスクについて

この手順を使用して参加者をアクティブな呼に追加し、電話会議を設定します。

前提条件

通話を開始します。

手順

- 1. 通話中に、[電話] 画面で [次へ] > [会議] の順に押します。
 通話中の呼が保留されます。
- 2. 参加者に発信するには、次のいずれかの操作を行います。
 - ・ダイヤルパッドを使用して電話番号をダイヤルします。

• [連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。

- 3.3番目の参加者が通話に応答したら、[参加]ソフトキーを押します。
- 4. 他の参加者を追加する場合は、[追加]を押して、手順2と3を繰り返します。

保留中の相手を会議通話に追加する

手順

- 1. 通話中に [保留] を押します。
- 2. 以下のいずれかを行います。
 - •新たに発信するには、新しいラインキーを押します。
 - ・着信に応答するには、[応答]を押します。
- 3.2人目が呼に応答したら、[会議] ソフトキーを押し、保留中の相手のラインキーを選択します。

保留中の相手が会議通話に追加されます。

会議通話から通話先をドロップする

手順

- 1. [電話] 画面から、アクティブな会議通話を選択します。
- [詳細]を押します。
 管理者が[詳細]ソフトキーを有効にしていることを確認します。
- 3. ドロップする通話先を選択します。
- 4. [切断] を押します。

会議通話から最後の通話先をドロップする

このタスクについて

以下の手順を使用して、会議通話に最後に追加された参加者をドロップします。最後に追加された参加者をドロップすると、この手順を使用して他の参加者をドロップすることはできません。このドロップ方法をもう一度使用しようとすると、電話機でエラートーンが再生されます。 最後に追加された参加者をドロップした後に、別の参加者を追加すれば、もう一度ドロップ方法を使用してこの参加者をドロップすることが可能です。

手順

- 1. [電話] 画面から、アクティブな会議通話を選択します。
- 2. 会議が終了したら、[切断]を押します。

最後に追加された参加者が、会議からドロップされます。

会議通話を保留および再開する

このタスクについて

この手順を使用して、会議参加者を保留し、その他の参加者の会議通話を続行します。

手順

- 1. 会議通話中に [保留] を押します。
- 2. 以下のいずれかを行います。
 - [再開]を押します。
 - •[OK]を押します。
 - ・コールアピアランスを選択して、会議通話を再開します。

会議通話で通話先をミュートにする

[無音] ソフトキーを使用して、会議通話で相手を無音にできます。すべてのシステムで個々の ミュート機能を利用できるわけではありません。通話先を選択したときに[無音] ソフトキー が表示されない場合、その相手をミュートにすることはできません。

手順

- 1. [電話] 画面において、会議通話中にミュートしたい相手の回線を選択します。
- 2. [詳細]を押します。
 管理者が[詳細]ソフトキーを有効にしていることを確認します。
- 3. [無音] を押します。
- 4. もう一度 [無音] を押すと、その相手のミュートが解除されます。

ボイスメールの使用

メッセージの取得

手順

[メッセージ] ボタンを使用すると、ボイスメールシステムに直接接続されます。

[メッセージ^{*}] ボタンと右上のメッセージ待機インジケータが赤く点灯していると、メッセージがあることを意味します。 この機能は、担当の管理者が機能を有効にしている場合にのみ使用できます。

ボイスメールを取得する

このタスクについて

この手順を使用してボイスメールメッセージを聞きます。[メッセージ]ボタンと電話機の右上のメ ッセージ待機インジケータが赤く点灯していると、ボイスメールがあることを意味します。

前提条件

システム管理者によって内線番号の音声メールが設定されていることを確認します。

システム管理者からボイスメールのユーザー ID とパスワードを取得してください。

手順

1. ボイスメールにログインするには、[メッセージ] ボタンを押します。

2. 音声プロンプトに従ってボイスメッセージを再生します。

章 6: 拡張機能

呼の不在転送について

着信呼を別の番号やボイスメールに不在転送することができます。 ご利用の電話機で使用で きる不在転送機能は、管理者が設定したオプションによって異なります。 お使いの内線番号で 利用可能なオプションに関する詳細については、管理者にお問い合わせください。

関連リンク

<u>不在転送を起動する</u> (33 ページ) 離席機能を起動する (33 ページ)

不在転送を起動する

手順

- 1. [機能画面] にアクセスします。
- 2. スクロールして [不在転送] を選択します。
- 3. [選択] または対応する回線ボタンを押します。
- 4. 呼の不在転送先となる通話先番号を入力します。
- 5. [#] を押します。

😒 注

不在転送に2人以上の参加者がいる場合は、呼の発信者が表示されます。この機能 は、管理者が関連するパラメータを設定している場合にのみ動作します。

関連リンク

<u>呼の不在転送について</u> (33 ページ)

離席機能を起動する

このタスクについて

離席(SAC)機能がオンになっていると、着信は指定されたカバレッジ番号(通常はボイスメ ール)へ直接移動します。着信は、お使いの電話にかかるとすぐに、システム管理者が設定し た番号へ直接移動します。SAC機能が電話機に設定されている場合は、[離席]ソフトキーが アイドル呼の[[電話]] 画面に表示されます。

[離席]を押すと、SAC がオンになります。SAC がすでにオンの場合は、[離席] を押すとオ フになります。 電話機の機能リストを使って [離席] のオン/オフを切り替えることもできます。

😒 注

カバレッジパスにすべてのカバーオプションを選択した場合は、SAC 機能を有効にしない でください。両方の機能を同時に有効にすると、通話ログでエントリが重複する可能性が あります。

手順

- 1. [機能] 画面に移動します。
- 2. スクロールして [離席] を選択します。
- 3. [選択]、[OK]、対応する回線ボタンを押してこの機能をアクティブにします。

関連リンク

<u>呼の不在転送について</u> (33 ページ)

携帯内線を起動して複数の電話機に同時に着信を設定する

このタスクについて

携帯内線機能では、着信があった時に電話および携帯電話が同時に着信するように電話をプロ グラムできます。これにより、離席中でも事務所の呼に応答することができます。システム管 理者は携帯電話番号をデスクフォンに追加し、プログラムしなければなりません。

手順

- 1. [電話] 画面から、[機能] 画面にアクセスします。
- 2. [携帯内線] までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - •[選択]
 - [OK]
 - ・対応する回線ボタン

ブリッジコールアピアランスを使用する

ブリッジコールアピアランスを使用する

話の表示画面には、自分専用のコールアピアランスだけでなく、1 つ以上のコールアピアラン スが表示されることがあります。ブリッジコールアピアランスが別のユーザーのものであれ ば、そのコールアピアランスが使用中かどうかを判別したり、そのアピアランスで呼に応答し たり、お使いの電話からそのコールアピアランスで進行中の呼に参加したりすることができま す。また、ブリッジコールアピアランスが使用中でない場合は、ブリッジコールアピアランス で電話をかけることもできます。

ブリッジ回線で呼に応答する

このタスクについて

ブリッジ回線の呼への応答は、基本的に主要回線の呼への応答と同じです。複数のコールアピアランスに対するアラートの場合、電話機では最新の着信呼がハイライト表示されます。呼び出し回線が選択されている場合は、ハンドセットを持ち上げるか、[スピーカー]、[ヘッドセット]、[応答]、[OK] ボタンのいずれかを押して呼に応答できます。

手順

1. 応答するブリッジコールを選択します。

着信回線は自動的に選択されます。呼がブリッジ回線に入ってきた時別の呼で通話中 の場合は、着信回線を選択しなければなりません。

2. [応答] を押します。

ブリッジ回線で電話をかける

このタスクについて

ブリッジ回線で電話をかけるときは、別の電話ユーザーの回線を使用します。発信中の呼に関 連付けられた発呼者 ID には、自分の発信か、自分が使用している別ユーザーの回線からの発 信かが表示されることがあります。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

- 1. 使用するブリッジ回線を選択します。
- 2. [OK] を押すか、対応するコールアピアランスを選択するとダイアルトーンが鳴ります。
- 3. 電話番号をダイヤルするか、「連絡先」リストまたは「履歴」リストから相手に電話を かけるか、「リダイヤル」ソフトキーを選択します。

ブリッジ回線の呼に参加する

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

- 1. 参加したい使用中のブリッジコールを選択します。
- 2. [ブリッジ] ソフトキーまたは [OK] を押すか、対応するラインキーを押します。

各ブリッジコールアピアランスに対する個別通知

電話の各ブリッジコールアピアランスの通知オプションは、管理者がご利用中の内線でこの個 別通知機能を有効にしている場合に使用できます。

次の4つのオプションを使用できます。

•[オン]:ブリッジアピアランスに着信が入ると、電話で着信音が再生されます。

- [オフ]: ブリッジアピアランスに着信が入っても、電話でアラート着信音は再生されません。
- [遅延]:ブリッジアピアランスのコールに応答しない場合、電話では遅れて通知メロディ が再生されます。この遅延は管理者が設定できます。
- [短縮]:電話でビープ音が1回再生され、ブリッジアピアランスにコールがあることを示します。

😒 注

複数のコールアピアランスに対するアラートの場合、電話機では最新の着信がハイライト 表示されます。

章 7: 電話機のカスタマイズ

オプションおよび設定

[オプションおよび設定] メニューには次のサブメニューが含まれます:

- [通話設定]
- ・[アプリケーションの設定]
- ・[表示とサウンド設定]
- ・[詳細設定オプション]

[通話設定] メニューでは、着信の受信時、発信時、応答時の[電話] 画面の自動表示の有無、 通話時間のオン/オフ切り替え、リダイヤル動作方法のコントロール、[着信ランプ表示] のオ ン/オフ切り替えについて選択できます。

[アプリケーションの設定] メニューでは、ボタンラベルのカスタマイズ、通話の [履歴] のオン/オフ切り替え、ブリッジコールを通話 [履歴] に含めるかどうかを選択できます。

[表示とサウンド設定]では、明るさとコントラスト、呼び出し音のパターン、言語の選択、キ ーのプッシュ音、トーンの調整について選択できます。

[詳細設定オプション] メニューでは、設定、オプション、ボタンラベルのバックアップと復元 について選択できます。

また、ヘッドセット、ハンドセット、スピーカー音声の AGC (オートマチックゲインコントロ ール)を設定することもできます。

通話設定

[発信時に通話画面表示]の設定

このタスクについて

[発信時に通話画面表示] オプションを [はい] に設定して、電話をかける際に自動的に [電話] 画面を表示させることができます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [通話設定]を選択します。

- 5. [選択] または [OK] を押します。
- 6. [発信時に通話画面表示]を選択します。
- 7. [変更] または [OK] を押して、オプションを現在の設定に応じて [はい] または [い いえ] に設定します
- 8. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

[着信時に通話画面表示]の設定

このタスクについて

[着信時に通話画面表示]を[はい]に設定すると、着信時に自動的に[電話]画面が表示されます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [通話設定]を選択します。
- 5. [選択] または [OK] を押します。
- 6. [着信時に通話画面表示]を選択します。
- 7. [変更] または [OK] を押します。
- 8. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

[応答時電話画面へ] の設定

このタスクについて

[応答時電話画面へ]オプションを [はい] に設定すると、電話に応答する際に [電話] 画面が 自動的に表示されます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [通話設定]を選択します。
- 5. [選択] または [OK] を押します。
- 6. [応答時電話画面へ]を選択します。
- 7. [変更] または [OK] を押して、オプションを現在の設定に応じて [はい] または [い いえ] に設定します

8. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

通話時間を表示する

このタスクについて

通話時間を表示するよう通話設定を変更することができます。通話時間の表示をオン/オフに 切り替えることができます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [選択]を押して [オプションおよび設定] > [通話設定] > [通話時間を表示] を選 択します。
- 3. [変更] を押して [はい] または [いいえ] を選択します。
- 4. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

リダイヤルオプションを設定する

このタスクについて

このタスクを使用すると、リダイヤル機能の使用時に、直前にダイヤルした4つの番号を表示 したり、直前にダイヤルした番号にダイヤルしたりすることができます。

手順

- 1. [メインメニュー] を押します。
- [選択]を押して [オプションおよび設定] > [通話設定] > [リダイヤル]を選択し ます。
- 3. [変更]を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - •[1 つの番号]: 直前にダイヤルした番号にダイヤルします。
 - •[リスト]: 直前にダイヤルした4つの番号を表示します。
- 4. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

着信ランプ表示の設定

このタスクについて

このタスクを使用すると、電話が着信を受けたときに、電話機の右上にある LED が点滅するようになります。

手順

1. [メインメニュー] を押します。

- 2. [選択]を押して [オプションおよび設定] > [通話設定] > [着信ランプ表示]を選 択します。
- 3. [変更]を押して [オン] または [オフ] を選択します。
- 4. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

オーディオパスを設定する

このタスクについて

スピーカーまたはヘッドセットで呼を受信するように電話機を設定します。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- [選択]を押してして[オプションおよび設定] > [通話設定] > [オーディオパス]
 を選択します。
- 3. [変更]を押して [ヘッドセット] または [スピーカー] を選択します。
- 4. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

通話中に表示する連絡先名を設定する

着信呼や応答呼、転送呼または会議通話において、発信者または着信者の番号が連絡先リスト の番号と一致した場合、発信者ではなく連絡先名を表示するよう卓上電話を設定することがで きます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [通話設定]を選択します。
- 5. [選択] または [OK] を押します。
- 6. [通話に使用する連絡先のペアを選択] します。
- 7. [変更] または [OK] を押して、この設定を [オン] または [オフ] に変更します。
- 8. [保存]を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

ダイヤルオプションを設定する

このタスクについて

電話機には次の2つのダイヤルオプションがあります。

- ・受話器を取り、ダイヤルトーンを聞いてから必要な電話番号にダイヤルすれば電話がかけられます(オフフックダイヤル)。
- 「発信前に番号を編集」機能が使用できます。この機能を設定すると、番号の全部または 一部を入力したり、必要に応じて Backspace で桁を修正したり、準備が整えばソフトキ ーを使ってダイヤリングプロセスを始めたりすることが可能となります。

手順

- 1. [メインメニュ-] を押します。
- [選択]を押して[オプションおよび設定] > [通話設定] > [発信前にダイヤルを編 集]を選択します。
- 3. [変更]を押して [オン](有効)または [オフ](無効)を選択します。

オンフックダイヤルが有効な場合は、ダイヤルパッド(発信前に番号を編集)検索は利 用できません。

4. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

ヘッドセットモードの設定

このタスクについて

ヘッドセットとスピーカーから着信音が鳴るよう卓上電話を設定できます。これは、スピーカ ーアラートをオフにしたり、ワイヤレスヘッドセットを持っている場合に便利です。

😒 注

ヘッドセットによっては通知音をサポートしない場合があります。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定]を選択します。
- 3. [通話設定] を選択します。
- 4. [ヘッドセットモード]を選択します。
- 5. 対応するボタンを使用して、次の3つの設定から選択します。
 - ・[無効]:着信音はヘッドセットに送信されません。ヘッドセットのスイッチフックボタンが押されるまで、ヘッドセットのオンフック状態は維持されます。
 - [スイッチフック信号] と [着信音]:着信呼が入るとヘッドセットで5秒ごとに通知 音が再生されます。ヘッドセットと電話機の両方のスイッチフックボタンが着信呼 で機能します。
 - [スイッチフックのみ]:着信音は電話機からヘッドセットに送信されません。ヘッド セットのスイッチフックボタンは機能しません。

6. [保存] を押して設定を保存するか、[キャンセル] を押して保存せずにメニューに戻り ます。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

アプリケーションの設定

コールログ履歴を起動する

設定メニューからコールログ履歴を起動することにより、電話の着信呼または発信呼を追跡し たり、通話履歴を使って発信呼をかけ直したりすることができます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定]を選択します。
- 3. [アプリケーションの設定]を選択します。
- 4. [履歴] を選択します。

この電話のオプションは、デフォルトでは [オフ] に設定されています。[変更] を押 すと設定を [オン] に変更します。

5. [保存] を押すと変更を保存します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

ブリッジコールにコールログを起動する

このタスクについて

コールログを使用してブリッジ内線番号に着信したコールを追跡できます。この手順に従っ て、[設定] メニューからブリッジコールのコールログを起動します。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定]を選択します。
- 3. [アプリケーションの設定]を選択します。
- 4. [ブリッジ呼のログを取る] に進みます。

この電話のオプションは、デフォルトでは[いいえ]に設定されています。[変更]を 押すと設定が[はい]に変更されます。

5. [保存]を押すと変更を保存します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

ラベルのカスタマイズ

このタスクについて

電話が内線、機能、短縮ダイヤル、スピードダイヤルボタン用として表示するラベルを変更す ることができます。たとえば、内線のラベルを*マイライン*に変更することができます。電話に ボタンモジュールを付けている場合、それらのラベルを変更することができます。例えば、[へ ルプデスク内線番号]を*ヘルプデスク*に変更することができます。

手順

- 1. [メインメニュー] を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [アプリケーションの設定]を選択します。
- 5. [ラベル設定]を選択します。
- [変更]または[OK]を押します。
 電話には編集可能なラベルが表示されます。
- 7. 編集したいラベルを選択します。

- 8. [編集] を押します。
- 9. ラベルを編集します。

[次へ] 続いて [クリア] を押すと、テキストフィールドをすべて消去して、最初から やり直すことができます。

- 10. [保存] または [OK] を押します。
- 11. (オプション) 初期値のボタンラベルに戻すには、[メインメニュー] > [オプションおよび設定] > [アプリケーションの設定] > [ラベルを初期値に戻す]を選択します。
 - a. [選択] を押します。
 - b. [初期値] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

初期値のボタンラベルを復元する

このタスクについて

電話機のボタンラベルをカスタマイズしている場合、初期値のボタンラベルを復元することが できます。この機能が使用可能かどうかは管理者による電話機の設定内容によって異なりま す。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定]を選択します。

編集したいラベルが [機能] メニューにある場合、右にスクロールして [機能] メニューにアクセスし、対象のラベルを選択します。

- 3. [アプリケーションの設定]を選択します。
- 4. [初期値のボタンラベルを復元する] に進んで選択します。
- 5. [変更] を押します。
- 6. [初期値] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

画面とサウンド オプション

表示画面の明るさまたはコントラストを調節する

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [表示とサウンド設定]を選択します。
- 5. [選択] または [OK] を押します。
- 6. [明度] または [コントラスト] を選択します。
- 7. [変更] または [OK] を押します。
- 8. [電話] または付属のボタンモジュールを選択します。
- 9. 右左にスクロールして、明るさまたはコントラストを調節します。
- 10. [保存] または [OK] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

ボタンクリック音をオン/オフにする

このタスクについて

この手順を使用して、ボタンクリック音をオフにします。

手順

- 1. [メインメニュー] を押します。
- 2. [選択]を押して [オプションおよび設定] > [表示とサウンド設定] > [キーのプッシュ音]を選択します。
- 3. [変更] を押して、サウンドのオン/オフを切り替えます。
- 4. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

エラートーンをオン/オフにする

誤った操作や、許可されていない操作を実行すると、電話はトーンを発します。このエラート ーンが不要な場合は、オフにすることができます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [選択]を押して、[設定オプションおよび設定] > [表示とサウンド設定] > [エラ ートーン]を選択します。
- 3. [変更]を押すと、エラートーンのオン/オフが切り替わります。
- 4. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

テキストサイズを変更する

このタスクについて

電話画面のテキストのフォントサイズを変更するには、この手順を使用します。

😒 注

この機能は、言語が英語の場合のみ適用されます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [表示とサウンド設定]を選択します。
- 5. [選択] または [OK] を押します。
- 6. [テキストサイズ]を選択します。

😒 注

[テキストサイズ]のオプションは、管理者が設定ファイルでこの機能を設定して いる場合のみ利用できます。

7. [変更] または [OK] を押してテキストサイズを変更します。

画面の横幅を[ハーフ]に設定すると、[テキストサイズ]オプションは利用できなく なります。分割画面を好まれる場合は、大きなテキストをオフにする必要があります。

8. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

電話画面の横幅を設定する

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
- 3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
- 4. [選択]を押して [オプションと設定] > [スクリーンとサウンド設定] > [電話スク リーンの横幅]を選択します。
- 5. [電話スクリーンの横幅] までスクロールして、[選択] を押します。
- 6. [変更]を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - •[フル]:各コールのアピアランスまたは機能がライン幅全体に表示されます。
 - [ハーフ]: スクリーンを2つに効率よく分割することで、各コールのアピアランスまたは機能がライン幅の半分に表示されます。
- 7. [保存] を押します。
- 関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

呼び出し音パターンを変更する

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [表示とサウンド設定]を選択します。
- 4. [選択] または [OK] を押します。
- 5. [カスタマイズ済み着信音] までスクロールして [変更] を押します。

呼び出し音には、クラシックとリッチの2種類のカテゴリがあります。それぞれのカテ ゴリには8種類のユニークな呼び出し音パターンが含まれています。現在選択中の呼 び出し音はステータスラインに表示されるほか、該当カテゴリにある8つの呼び出し音 がすべてリスト表示され、現在選択中の呼び出し音にはチェックマークが付けられま す。デフォルトでは、リッチカテゴリの呼び出し音が電話機に表示されます。ソフトキ ー[クラシック]は、もう一方の呼び出し音カテゴリを示し、カテゴリ間での切り替え が可能です。

6. 表示中の呼び出し音パターンを選択するか、もう一方の呼び出し音カテゴリのソフトキー[リッチ]または[クラシック]を押して、8つの呼び出し音パターンから選択します。

🖸 ヒント

2 種類ある呼び出し音パターンのセット間を切り替えるには、[リッチ/クラシック] ソフトキーを押します。

7. 必要に応じて、呼び出し音パターン間をスクロールし、希望のパターンを選択します。 リスト内をスクロールすると、スピーカーから呼び出し音が1回再生されます。選択した呼び出し音をもう一度聞くときは[OK]を押します。 8. [保存]を押して選択を保存します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

表示言語を変更する

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [表示とサウンド設定]を選択します。
- 5. [選択] または [OK] を押します。
- 6. [言語] を選択します。

😒 注

言語オプションは、管理者が電話機でこのオプションを有効にしている場合のみ利 用できます。

- 7. 表示言語を選択します。
- 8. [選択] または [OK] を押します。
- 9. [はい]を押して、選択した言語を確定します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

詳細設定オプション

データファイルのバックアップと復元

電話のオプションと設定を変更または更新した際には、電話機情報の自動バックアップ以外に も、(システムの管理設定によっては)手動でデータファイルをバックアップすることができま す。データファイルとは、電話機に保存された連絡先、お気に入り、カスタマイズラベル、適 用可能なボタンモジュール、呼の履歴、呼び出し音、または[メインメニュー]を使って設定 するような他のオプションや設定などの、個人設定を指します。同様に、管理設定によっては 手動復元オプションを用いて、データファイルを以前の設定に復元することができます。手動 バックアップ、またはバックアップしたファイルの手動復元は通常不要ですが、システム障害 が発生した際にはシステム管理者によってこの操作を行うよう要求されることがあります。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定] または [電話機設定] を選択します。
- 3. [選択] または [OK] を押します。
- 4. [詳細設定オプション]を選択します。

- 5. [選択] または [OK] を押します。
- 6. [バックアップ/復元]を選択します。
- 7. [手動バックアップ] の行が選択されていることを確認してから、[バックアップ] を押 して、データファイルのバックアップを開始します。

1 行目に現在バックアップ中であること、そしてどれくらいでバックアップが完了する かを示すメッセージが表示されます。

バックアップの処理中には、メッセージ Backup in progress.が表示されます。バ ックアップが完了すると、メッセージ Backup successful または Backup failed (設定ファイルの bruri パラメータ値によって異なる)が表示されます。

8. バックアップファイルからデータを復元するには [手動リストア] の行を選択している ことを確認してから、[リストア] を押します。

最上行に、バックアップファイルからのデータ復元が進行中であること、および復元の 終了時間を示すメッセージが表示されます。これで、以前のオプションと設定が復元さ れます。

復元の処理中には、電話に Retrieval in progress が表示されます。復元が完了す ると、電話に Retrieval successful または Retrieval failed が表示されます。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

オートマチックゲインコントロールをオン/オフにする

このタスクについて

オートマチックゲインコントロール(AGC)は一貫したよりよい品質の音声を得るために音声 出力を自動的に調整します。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [詳細設定オプション]を選択します。
- 3. [オートマチックゲインコントロール] までスクロールし、[選択] を押します。
- 4. [メインメニュー]を押します。
- 5. [選択]を押して [オプションおよび設定] > [詳細設定オプション] > [オートマ チックゲインコントロール]を選択します。
- AGC をオンまたはオフにするかによって、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーを選択します。
- 7. [変更] を押して AGC のオン/オフを切り替えます。
- 8. [保存] を押します。

関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

ハンドセットのオーディオイコライゼーションを選択する

このタスクについて

ほとんどの人にこのオプションは不要です。ただし、聴覚障害のある方など一部の人にとって、 このオプションは電話のオーディオ特性が変更できるため、遠端でより聞き取りやすくするこ とができます。

手順

- 1. [メインメニュー]を押します。
- 2. [オプションおよび設定]を選択します。
- 3. [詳細設定オプション]を選択します。
- 4. [ハンドセットイコライザー] に進みます。
- 5. [変更] を押します。
- 6. 変更したい設定は、設定に対応するボタンを押して選択します。[デフォルト]設定は、 管理者が特に変更していなければ、標準の音声性能を提供します。[標準音声]管理者 の選択内容に関わらず、標準の音声性能を提供します。[補聴器対応]設定は「補聴器 対応」性能を提供します。[増幅]設定では、通話間の音量レベルを設定値にリセット できます。
- 7. [保存] を押します。
- 関連リンク

<u>オプションおよび設定</u> (37 ページ)

管理者メッセージ

管理者は、悪天候による閉店時間繰り上げ通知などの重要なメッセージを送信またはプッシュ できます。 また、管理者はデスクフォン不通の急告に関する情報も送信できます。

これらのタイプのメッセージは、以下のいずれかの形態で送信されます:

- テキストメッセージ:画面の一行目にテキストメッセージが表示され、音声メッセージも 流れます。
- ・音声メッセージ:スピーカーまたはアクティブになっているヘッドセットを介して音声メッセージが発せられます。
- 割り込み画面は、音声メッセージが受信中であることを通知します。

音声メッセージの受信中は、スピーカー、ハンドセット、ヘッドセット間の切り替え、オンフ ックによる割り込み音声コンテンツの転送停止、音量調整など、通話中に通常実行するような 操作が可能です。

ブラウザ

電話には、LDAP などの追加のアプリケーションを使用するための WML Web ブラウザ機能が 搭載されています。ブラウザ経由で利用できるアプリケーションは、システム管理者がお使い の電話をどのように設定しているかに応じて異なります。 [メインメニュー] からブラウザにアクセスします。 [メインメニュー] に [ブラウザ] オプ ションが表示されない場合は、電話で Web アプリケーションを利用できるようにする必要が あります。

章 8: トラブルシューティング

フェイルオーバー中のアクセス制限

電話機の接続や機能は、複数のシステムサーバーを介して提供されます。サーバーから切断されたり別のサーバーに切り替わったりした際には、「フェイルオーバー」モードに入って機能を 維持すると同時に、代替サーバーへの接続を確立します。電話機がどのサーバーを使用してい るかに応じて、フェイルオーバー中であることを知らせるアイコンが画面の一行目に表示され る場合があります。

フェイルオーバーには複数の段階があります。例えば、電話機が新たなサーバーへと移行する 間は、「不安定な状態」となり、機能が制限される場合があります。代替サーバーが作動する と、電話機はそのサーバーで利用できる機能を引き継ぎます(元のサーバーの機能とは異なる 可能性があります)。元のサーバーが復旧すると、電話機はこのサーバーへのフェイルバックを 行いますが、ここでも移行中には機能が制限される場合があります。電話が元のサーバーへと 戻ると、通常の機能も回復します。フェイルオーバーとフェイルバックは自動的に行われます。 故障モードに対して操作を行うことはできません。

フェイルオーバー中は、電話機の特定の機能が限定される場合があることに注意してください。 フェイルオーバー中にどのような操作が可能かについては、画面下のソフトキーで調べてくだ さい。また、[電話] ボタンを押しを表示して、フェイルオーバー中に実行できる操作について 確認することもできます。

● 重要

フェイルオーバー中、または元の電話サーバーにおいて通常のサービスが復旧するまでの 間は、電話機からログオフしないでください。フェイルオーバー中、代替サーバーへの移 行中、代替サーバーからの復旧中、または電話機が代替サーバーでアクティブになってい る際にログアウトすると、電話機が使用できなくなる可能性があります。

お使いの電話機がフェイルオーバーモードに入っている場合、以下の症状が見られます。

- ・通話中にフェイルオーバーが発生した場合、その通話はアクティブのまま維持されます。
 電話機が代替サーバーへと移行している間は、新たな通話を開始することはできません。
- ・代替サーバーへの移行が完了するまでは、一部のソフトキーが表示されなかったり、これに関連した機能を使用できなかったりする場合があります。
- 呼の接続は通常より時間がかかる場合があります。
- 新しいサーバーへの移行中は、アクティブな会議通話、呼転送、保留中の呼はドロップされる場合があります。着信は受けることができない場合があります。この場合、ボイスメールに転送される場合があります。
- ・緊急通話については、フェイルオーバーの段階や代替サーバーの機能に応じて、利用できる場合やできない場合があります。
- メッセージ未読インジケータは消去されますが、ボイスメールについては、呼の送信先の ボイスメールサーバーがフェイルオーバー中でなければ利用できる場合があります。

- フェイルオーバー中に[電話]ボタンを押して、ブラウザウェブリンク/ページにアクセスできますが(通常利用できる場合)、電話機が代替サーバーに移行するまでは、「クリックダイヤル」リンクは機能しません。
- ・元のサーバーに戻れば、すべての機能が回復します。

章 9: 関連資料

ドキュメント

「<u>http://support.avaya.com</u>」で次の関連ドキュメントを参照してください。

タイトル	使用目的	対象ユーザー
概要		
Installing and Administering Avaya J169/J179 IP Phone	Avaya J169/J179 IP Phone	特徴、機能、容量、 制限に関する大まか な知識を必要とする ユーザー。

Avaya Mentor Videos の表示

Avaya Mentor Videos は、Avaya 製品のインストール、設定、およびトラブルシューティングの方法に関する技術的な内容を提供します。

このタスクについて

ビデオは、Avaya サポート Web サイトでビデオドキュメントタイプの下に表示される一覧から、および Avaya が運営する YouTube チャンネルで入手できます。

手順

- Avaya サポート Web サイトでビデオを検索するには、<u>http://support.avaya.com</u> にアクセ スして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [Search] で、Avaya Mentor Videos と入力し、視聴できるビデオを表示します。
 - [Search] で、製品名を入力します。 [Search Results] のページで [Video] を 左 側にある [Content Type] 欄から選択します。
- Avaya Mentor Videos を YouTube で検索するには、<u>http://www.youtube.com/AvayaMentor</u> にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [チャンネルを検索] にキーワード(複数可)を入力して、特定の製品やトピックを検索します。
 - [プレイリスト] を下へスクロールし、トピックの名前をクリックすると、サイト上に 投稿されたビデオの利用できるリストが表示されます。

😵 注

ビデオはすべての製品に提供されているわけではありません。

サポート

最新のドキュメント、製品に関する通知、情報資料を入手するには、「<u>http://</u> support.avaya.com」で Avaya サポート Web サイトにアクセスしてください。 リリースノー ト、ダウンロード、および問題の解決も検索できます。 オンラインサービス要求システムを使 用して、サービス要求を作成します。 ライブエージェントとチャットをして問題の解決を入手 するか、問題がさらに専門知識を必要とする場合はサポートチームに接続してもらうようにエ ージェントに要求します。

索引

Α

オーディオゲインコン	トロール	<u>48</u>

い

一般的なアイコン <u>14</u>	ŧ
--------------------	---

え

エラートーン	
オン/オフ切り替え	<u>45</u>

お

応答時電話画面へ	
設定	<u>38</u>
オプション	. <u>19</u>
オプションおよび設定	
応答時に電話画面を開く	<u>38</u>
概要	37
言語の変更	<u>47</u>
ダイヤルオプションを設定する	41
着信時に通話画面表示	38
着信ランプ表示の設定	39
通話履歴	29
発信時に電話画面を開く	.37
呼び出し音パターンの変更	46
リダイヤルの設定	39
オプションのコンポーネント	.14
オフライン通話ログ	17
オンフックダイヤル	41
オーディオパス	<u> </u>
オンフック	40
• •	

か

会議通話	
相手をミュートにする <u>3</u>	1
概要 <u>2</u> 9	<u>9</u>
呼を保留にする <u>3</u>	1
接続の切断 <u>30</u>	<u>)</u>
通話先をドロップ <u>30</u>)
保留中の相手を追加30)
会議通話、アクティブなコール	3
概要	3
カバレッジ	3
画面の横幅	3
管理者メッセージ	
概要	9
関連ドキュメント5	3

機能 <i>(続き</i>) アクセス <u>20</u>
緊急電話 <u>22</u>
<
クリックダイヤル 電話をかける <u>24</u>
け
ゲストユーザー
変史4 <u>/</u>
с -
呼 連絡先リスト
呼の个在転送 概要
呼のミュート <u>24</u> 通話履歴
アイコン <u>15</u> 電話をかける <u>22</u>
呼を発信する
5
サポート <u>54</u>
L
初期値のボタンラベル、復元 <u>43</u>
す
スピーカー
せ
接続ジャック <u>12</u> 319
_{設定}
t:
ダイヤルオプション 設定
発信前に番号を編集

き

機能

ち

着信	
応答	<u>21</u>
カバレッジへ送信	<u>33</u>
複数の電話機への転送	
呼び出し音	
変更	<u>46</u>
着信呼	
転送	<u>24</u>
不在転送	
着信時に通話画面表示オプション	
設定	<u>38</u>
着信ランプ表示	
設定	<u>39</u>

っ

通話時間	
表示	

τ

テキストサイズ	45
テキストサイズ、メインメニュー	45
データファイルのバックアップ	47
データファイルの復元	47
転送	24
電話機の問題	51
電話設定	
概要	37
電話の内線番号にログインする	17

な

ナビゲーションのヒント	
ナビゲーション矢印	
左右	
上下	

は

発信	
クリックダイヤルリンクの使用	<u>24</u>
コーポレートディレクトリ	<u>23</u>
番号をリダイヤルする	<u>23</u>
ブリッジ回線で電話をかける	<u>35</u>
発信呼	
呼を発信する	<u>21</u>
ダイヤル番号の編集	<u>23</u>
発信時に通話画面表示	
設定	<u>37</u>
発信時に電話画面を開くオプション	
設定	<u>37</u>
番号をくりあする	<u>24</u>
ハンドセット	
オーディオイコライゼーション	<u>48</u>
ハンドセット AGC	<u>48</u>

ひ

ビデオ	<u>53</u>
表示画面	
明るさの調整	<u>44</u>
コントラストの調整	<u>44</u>

ふ

フェイルオーバー中のアクセス制限	51
フェイルオーバー	<u>51</u>
不在転送	
呼	<u>33</u>
物理レイアウト	<u>10</u>
ブラウザ、WML	<u>49</u>
ブリッジコールアピアランス	
概要	<u>34</u>
参加	35
ブリッジコールログ	
適用	<u>42</u>
ブリッジ呼	
応答	<u>35</u>

へ

ヘッドセット AG	C <u>48</u>	3

ほ

ボイスメールを取得する	32
法的通知	
ボタンクリック音	
設定	<u>44</u>
ボタンラベル	
カスタマイズ	<u>43</u>
ボタンラベル、デフォルトのラベルに戻す	<u>43</u>
保留	
会議通話を保留にする	<u>31</u>
呼を保留にする	<mark>25</mark>

め

メインメニュー	
オプション	37
初期値のボタンラベルを復元する	<mark>43</mark>
メッセージ	
概要	<u>49</u>
取得	31
メニュー	

り

リダイヤル	<u>23</u>
リダイヤルオプション	
設定	<u>39</u>
履歴	
オフにする	
呼の表示	27
詳細を表示する	<mark>28</mark>

履歴 <i>(続き)</i>	
コールログからすべてのエントリーをクリアする …2	28
電話をかける <u>2</u>	22
履歴を起動する	2

れ

連絡	·先	
	新しい連絡先を追加する	25
	概要	25
	検索	27
	通話履歴から追加	28
	選択	27
	通話中の名前表示	40
	電話をかける	22
	編集	26
連絡	先、削除	26